

# 矢吹中学校改築事業



計画進捗率 6月23日現在 14% 実施進捗率 14%

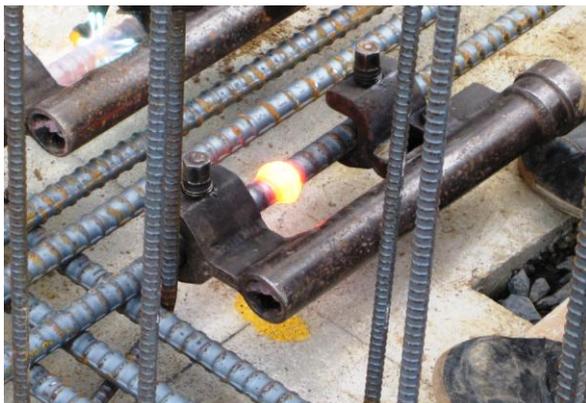
今回は、鉄筋工事について紹介します。

ガス圧接継手は、鉄筋同士を突合せ、軸方向に圧縮を加えながら接合部を酸素アセチレン炎で加熱し、溶かすことなく赤熱状態で膨らませて接合する継手です。加熱時、接合部の最高温度は約1,200℃になります。



ガス圧接の様子です。  
固定金具により鉄筋を突合せ、特殊なバーナーにより熱を加えながら接続します。

圧接完了後、目視できない接合内部について、適切に施工がされているかどうかを超音波試験器により確認します。



圧接完了後の写真です。  
接合部の膨らみと幅が施工基準で定められています。

地中に設置される梁の鉄筋です。  
太さは直径25～29mm（D25～D29）で、  
29mmの鉄筋の場合、1本当たり最大約22tの  
引張力に耐えることができます。



鉄筋足場の設置状況です。  
（校舎棟）

各資材はクレーンにより所定の場所に配置  
されます。（校舎棟）



配筋を行うための鉄筋足場が設置されて  
います。（体育館棟）